

大学の図書館

第40巻第7号 (No.572)

2021 7



目次

松田上雄さんと文教大学越谷図書館 鈴木 正紀 ...109

特集：子育てとキャリア形成

仕事と子育て両立のための隙間時間勉強法 北島 光朗 ...110

育児と仕事の両立を目指す図書館職員の所感 小川ゆきえ ...112

子育てとキャリア形成を振り返って～継続は力なり 矢崎 美香 ...113

一管理職としてやってきたこと 加藤 晃一 ...115

試行錯誤の9年間 花崎佳代子 ...117

仕事と子育てと自分の時間 柿原 友紀 ...118

松田上雄さんと文教大学越谷図書館

鈴木 正紀

大図研初代委員長であった松田上雄(まつだ・かずお)さんが今年4月に逝去された。

拙稿では、松田さんが仕事の場とした文教大学越谷図書館のことについて「メモ」を書き残しておく。

松田さんは東京大学図書館に勤められた後、1975年4月に文教大学(当時は「立正女子大学」)に移ってこられ、翌年4月、図書館の「館長補佐」に就任した(現在もこの職名はあり、学長任命職として図書館職員のなかから該当者に発令されている)。その後は館長補佐として数々の試みを行い、1991年に定年退職、その後1年間嘱託職員として仕事をされた。

ここでは松田さん(を中心とした当時の図書館職員も当然含む)の仕事の集大成というべき文教大学越谷図書館(1981年10月開館)について述べておく。当館は、今では当たり前とされる「学生のための図書館」として、全面開架式を採用、更には学外者への公開、児童文庫活動など、当時国内では例のない試みをいくつも展開した。多くの見学者が来館したと伝え聞いている。

しかしここでは、そうした松田さんの「目に見える業績」ではなく、そうではない「必ずしも可視化されない遺産」というものを強調しておきたい。これはなかなかうまく言えないのだが、それを想起できる2つのエピソードを紹介しておく。

ひとつは、筆者の同僚が「この図書館に勤めなければ今のような考え方、仕事はしていなかっただろう」と述べたことである。

もうひとつは、数年前、西のほうの支部(当時)の支部長から、「部下が東京方面に出張する折りに貴館の見学を希望しているが可能か」と打診され、もちろんOKと回答した。見学に来られた方に「なぜ他にいくつもある新しい先端的な図書館ではなく当館の見学を希望したのか」と問うたところ、「この図書館には『熟成』といったものを感じるから。それは実際に見て正しい認識だった」という趣旨の話がされたことである。

この2つのエピソードは、当館の中核にあるものを言い当てていると思う。この継承が当館の重要な課題と認識している。

(すずき・まさのり／文教大学越谷図書館)

特集：子育てとキャリア形成

2021年9月に開催予定の次回全国大会でも継続して分科会テーマの一つにあげられている「キャリア形成」について、「子育て」に焦点をあてた特集を企画しました。子育て真っ最中の方、子どもが成人するなどした子育て経験者の方、職員のキャリアを見守る管理職の立場の方など様々な視点から以下の内容を盛り込んだ形で、ご執筆いただきました。

- ・子育てと仕事との両立をどうしているか？
- ・子育て中にどうやって勉強しているか？
- ・子育てが仕事に役立つことはあるか？またはその逆もあるか？

この課題は直面した方にとっては働き方そのものについて考えさせられ、ライフスタイルの変革が求められるような一つの転機だと思います。一方では、職場に子育て中の方が在職されていれば、一日の長い時間をともに過ごす職場の方々など、周りの人達の理解や協力がとても大切だと思います。少子化と言われていますので、身近な事例も減少しているかもしれません。だからこそ、「子育て」のご経験がない方や、これから職場に「子育て中」の方が在職される場合の環境整備を考えていらっしゃる方にも、参考になるような様々なエピソードをご寄稿いただきました。

9月の全国大会分科会においても、今号の記事も参考に議論を深める予定です。お楽しみに。
(九州地域グループ)

仕事と子育て両立のための 隙間時間勉強法

北島 光朗

私の生活について

私は九州大学附属図書館に勤めて9年目の職員です。育児のための部分休業を取得しながら働いており、同じ職場の妻と3歳の息子と3人で暮らしています。

息子が1歳から保育園に通い始め、それと同時に私が時短勤務を始めました。勤務時間は、退勤を1時間早めた8:30-16:15です。毎朝出勤前に息子を保育園に送り、退勤後は保育園へ息子を迎えに行き夕食の準備をする、という生活です。妻は産休から復帰後、以前通りフルタイムで働いています。

「得意ではないから」時短勤務を取得した

私は妻と比べると、家事・育児が得意ではありません。だからこそ、私が時短勤務を取得したことで家が上手く回っている実感があります。

私はいわゆる「察して動く」ということが苦手です。衣服やベビー用品の準備、衛生管理、予防接種のスケジュール管理等……先回りして考えているのはいつも妻の方で、産休期間は特に負担をかけてしまっていました。その分、保育園の送迎や食事の準備等、日々のルーティーンになるような部分は是非自分が、と考えていました。もし妻が部分休業を取得していたら、私はきっと平日夜や休日だけでは家事・育児の要領を得ず、妻に負担が偏ってしまったらと思います。

また、妻が現在の職場でしっかりとキャリア形成をしたいと考えていることも、私が時

短勤務を取得した理由の一つです。妻が産休で完全に休業した分、育児のための部分休業は私が取得し、仕事から離れる期間が偏りすぎないようにしました。

そういったことから、私の家庭の場合は私が時短勤務をすることで、お互いに仕事と家庭のバランスが取れているように思います。

子育てと自己研鑽

育児が始まると、当然自分の時間がなかなか取れなくなります。そのため、自分のために使える時間は、「いま本当に好きなこと」をするか、「自分の成長につながる時間」になるよう時間の使い方を根本から見直しました。私の場合、現在の学びのテーマは語学や文化、歴史に関すること、と決めています。その時間を少しでも多く確保するため、下記のような「昔から好きで習慣になっていること」はやめることにしました。習慣をやめることは思い切りが必要ですが、いざやめてみると「いまの自分には必要ない時間だったな」とすっきりします。

- ・(日本語の) テレビ番組の視聴
- ・(日本語の) ゲーム、娯楽アプリの類
- ・通勤中の音楽鑑賞
- ・SNS

隙間時間はPodcast

通勤時間、家事の時間、寝る前などはPodcastという音声メディアの番組を聴くようにし、できる限り何かをインプットする時間にしていきます。しっかり内容を聴ける時は歴史の番組などを、あまり集中して聴けない時には外国語のニュースやトーク番組を聴き流しています。隙間時間のPodcastは本当におすすめです。私はSpotifyやhimalaya、Castboxなどのアプリで聴いています。配信される番組はアプリによって多少異なるので、複数のアプリを使い分けています。ラジオ番組を遡って聴けるradikoというアプリ

も便利ですが、私はラジオよりも番組の選択肢が広く、アーカイブ音声を好きなときに聴けるPodcastの方が好みます。

娯楽は外国語で

息子が寝た後の自由時間は体のケアをしたり、動画配信サービスのNetflixで海外のドラマやドキュメンタリー番組を観ています。語学については、Netflixで好きな動画を見る、という学習法が非常におすすめです。音声も字幕も色々な言語がある上、Google Chromeの拡張機能を活用すれば英語の音声・字幕に日本語の自動翻訳も表示する、という使い方もできます。何より、好きな動画を見るだけなので勉強の意識もなく楽しく続けられます。他にも、ニュース、SNS、Youtube動画の視聴、ゲーム等もなるべく英語限定にする、PCやスマートフォンの言語設定を英語にしておくなど、娯楽や日常生活はできる限り語学学習につなげるようにしています。このおかげで日常的に英語を読む・聴く習慣ができ、語学力は子育て前より伸びている実感があります。

男性職員の実例として

男性の育児休業も以前より増えてきているとは思いますが、自分の職場で実例が無いとなかなか取得しづらいかもしれません。私のケースが、今後同じ職場の男性職員にとって、少しでも育児休業が取得しやすくなるきっかけになればよいと思います。

育児休業は取得する権利があるものですが、その分、職場や社会に対し何らかの形で還元する必要があると考えています。今回のお話もそのような気持ちからお受けしました。少ない経験ではありますが、何か参考になるものがあれば幸いです。

参考：隙間時間におすすめのPodcast番組
・“MOOK STUDY”日本の歴史

<https://mookstudy1.mookmookradio.com>
日本史の出来事や人物の魅力をゆるく楽しく語るトーク番組です。

- ・ラジオ版 学問ノススメ Special Edition
<http://www.jfn.co.jp/susume/>
ゲストの学者や作家の方から、人生のスパイスになるようなお話が聞けます。
- ・Spotlight English
<https://spotlightenglish.com>
非常に優しい英語をゆっくり話してくれる、英語初心者にもおすすめの教養番組です。
- ・Learning English Broadcast - VOA Learning English
<https://learningenglish.voanews.com>
英語学習者向けの言葉が使われる、アメリカを中心に世界のニュースを扱う番組です。
(参照：2021-6-13)

(きたじま・みつろう／

九州大学附属図書館)

育児と仕事の両立を目指す 図書館職員の所感

小川ゆきえ

私の現状

私は2人の小学生の母であり、平日は俗に言うワンオペ育児を実践してきた。(週末は夫も育児をしている。)私の場合、子育てとキャリア構築は両立「しない」と考えている。理由は「大変だから」。

私の周囲には、ベビーシッターや地域の支援制度などを上手く活用し、仕事と育児を両立させ、キャリアアップを遂げている方がいる。

しかし、実際に育児を経験してみると、自身のキャリアを見据えながら育児をすること

は、私にとっては非常に困難であることが判った。例えば、育児に関わる前は、自分の仕事とプライベート、たまに実家の状態を管轄しておけばよかった。出産後はそこに、保育所、小児科、病児保育などの管轄が増えた。上の子が小学生になると、小学校、学童、宿題、習い事、夏休みの預け先など、更に管轄が増えた。そのような中で、落ち着いて自分のキャリアに向き合う時間と心の余裕を、私は持つことができないのだ。

育児で鍛えて仕事に生かす

一方、育児は、マルチタスク、想定外への対応、優先順位の見直し、が常である。育児という局面で、これらの状況と嫌でも毎日対峙していると、少しずつ心と体が鍛えられるようだ。お陰で業務上、想定外の事案が発生した場合も落ち着いて対応できるようになった(と、思う)。また、育児休業(育休)から復帰した後、私の業務遂行力は以前と比べて向上した。残業が全くできない状況に置かれたことが原因ではあるが、私の費用対効果が上がったことは、職場にとって悪いことではない(と、思う)。

育児とは関係なく元々効率よく仕事をしている方もおられるだろう。しかし以前の私は、今考えると、業務に対する姿勢が甘かった。現在は、子どもの体調不良等でいつ突然休暇を取るかわからないという危機感により、ファイルと書類の共有、(それなりの)机上整理、上司と同僚へのマメな進捗報告の習慣を身につけることができた(と、思う)。

社会全体の問題として

社会に目を向けてみる。

育児を取り巻く社会の状況は少しずつではあるが進歩していると感じている。私がまだ若手だった頃、某職員が職場で男性初の育休を取得しようとしたが叶わなかった。その数年後、育児のための所定労働時間短縮措置(時

短)の制度が整い、「イクメン」が流行語大賞にノミネートされた。時は流れ、男性職員も時短や育休を取得する事例が発生し、「イクメン第2世代」が登場し、年少・中・長児の保育所利用料が無料となった。本稿を書いている数週間前には、改正育児・介護休業法可決・成立のニュースが流れた。

正直、男性の育児参加に関する日本での意識改革は、理想とは程遠いものだと感じている。しかし、上記のように育児に関する社会の状況は、確実に好転している。

「子育てに関連する問題」はともすれば未だに「女性の問題」と認識されてしまう問題を、全ての人に関する問題として認識することができる社会へ一歩ずつ近づいているのではないかと思う。

育児だけじゃない

私が育休、時短、ノー残業などの制度を使ったのは、職場の心温かいご理解、ご協力を得ているからであることは言うまでもなく、感謝の言葉しかない。

しかし少々気になることがある。それは、一部の同僚や上司から「あなたには子どもがいるから仕方ない。他の人は残業しているけどあなたは遠慮せず家庭を優先に。」という趣旨の声をかけられること。

育児のために残業できない職員の業務を、他の職員が恒常的な残業でフォローするという考え方は本末転倒である。目指すべきところは、子どもがいる人も、家族を介護している人も、持病と闘っている人も、その他の人も、互いに業務をフォローし、定時で退勤し、遠慮なく休暇を取得してそれぞれの家庭やプライベートを優先できる、そんな職場であるはずだ。

誰かが突然出勤できなくなっても、業務が滞らない体制を、日頃から作っておくことは、育児に関わる者だけの問題ではなく、職場全体の危機管理の一つである。ということ

常々考えていたところ、某テレビドラマでこれとほぼ同じ趣旨の台詞があり、SNS上で多くの支持を得たことを知り嬉しくなった。働き方改革の波に乗り、誰もが自分の時間を確保しながらキャリア形成できる職場が、これからの主流となることを祈っている。

おわりに

育児経験を業務に生かすことができた小さな話をもう一つ。

私はよく家で子ども達に読み聞かせをしてきた。ある時職場で、急遽対面朗読をすることになり、登場人物の台詞だけが続く場面で、無意識に声色を変えて読んだ。結果、利用者から「わかりやすかった」との声をいただいた。

育児中のキャリア構築は難しいが、育児経験が仕事に生かされる些細な場面は、もしかしたら他にもあるのかもしれない。

(おがわ・ゆきえ／

西南学院中学校・高等学校図書館)

子育てとキャリア形成を振り返って ～継続は力なり

矢崎 美香

「子育てとキャリア形成」を考える上で、はじめに女性を取り囲む社会状況及び関係する法制度についておさえておく必要がある。

私が、結婚、出産、子育てをする約30年前は、まだまだ女性の社会進出を阻む壁も多く、働く女性は苦悩しながら働いていたと考える。

その中で、1985年6月に「男女雇用機会均等法」が成立し、その後女性の働く環境改善のために様々な法整備がされた。このような法整備の中、働く上でネックとなるのは、女性の家庭の理解や出産、育児になる。

出産、育児に関する法整備としては、「育児休業法」が女性の職場進出、核家族化の進行等による少子化に伴う労働力不足の懸念等を背景に平成3年5月15日に成立し、翌平成4年4月1日から施行された。しかし、当時の「育児休業法」は、努力義務規定であり、禁止規定ではないため「休業」などの取得をするのは容易ではなかった。

しかし、女性の社会進出が求められるとともに少子化対策のため、「男女雇用機会均等法」、「育児休業法」は、改正を重ねた。今年度6月に改定（令和4年4月1日から段階的に施行）された「育児休業法」では、

- 1 男性の育児休業取得促進のための子の出生直後の時期における柔軟な育児休業の枠組みの創設
- 2 育児休業を取得しやすい雇用環境整備及び妊娠・出産の申出をした労働者に対する個別の周知・意向確認の措置の義務付け
- 3 育児休業の分割取得
- 4 育児休業の取得の状況の公表の義務付け
- 5 有期雇用労働者の育児・介護休業取得要件の緩和

とされ、出産、育児を考える女性にとり、働きやすい環境が整備された。

法が整備されることにより、社会全体が女性の出産、育児に対しての理解を示すとともに、働き方改革も後押しをし、以前に比べ制度的な問題は払拭されている。

しかし、実際出産、育児をする女性にとっては、制度が改善されたから働きやすくなり、仕事を続けられるとは限らない。そこには、家庭（配偶者の理解、同居する親の介護）の問題や本人の体調の問題などがある。

私は配偶者の理解もあり、結婚しても出産しても仕事を続けることができた。さらに研究会などの参加についても反対されることはなかった。大学図書館研究会の会員の中には、

配偶者の理解が得られないために例会に参加することが儘ならなくなり、次第と足が遠のいてしまい、学ぶことを断念することがある。このように例会に参加できない会員の中にもあきらめずに会で培った人とのつながりをメールやSNSを使い、自分のモチベーションを下げないように学習を続ける人もいる。

キャリア形成とは、大学院に行くことや資格取得をすることを指すだけではなく、学びたいと思う本人のできる範囲のことを継続的に行うことではないか。とかくキャリア形成という経歴に書ける内容を考える人が多いと思うが、そうではないと考える。継続して学び続ける中で、次第に何らかの形が作られるのもキャリア形成だと言えるのではないか。実際私が出産、子育てをするときはそう思いながら学ぶことをあきらめずに来たからである。

私の場合妊娠時から早産の危険もあり、仕事を続けるか辞めるか悩んだ時期もあった。さらに産後の肥立ちがあまり良くなく、文字を読むことが暫くできずに仕事への復帰ができないのではないかと心配になることがあった。さらに、最初の子どもは3歳過ぎまで1週間の内病院に行かない日はないほど病気がちで、子育てと仕事の両立はできないのではないかと思っていた。しかし、そんな中近隣の図書館の子育てを体験された先輩方から励ましや仕事との両立方法や苦勞話を伺い、子どもが少し大きくなるまでは自分ができる範囲の中で学べることを学び続けようと考えようになり、停滞している状況を悲観するのではなく、今だから学べるものがないかと思いつめぐらせ、あらゆる情報（子どもの病気、栄養、料理、子ども会、PTA、制度など）について興味を持つように心掛けた。もちろん世の中から取り残されないように新聞も丁寧に読むようにした。

今思えば、子育て中は学習意欲を下げる要素が多く、いかに自分のモチベーションを維

持し続けられるかがキーポイントになると考
える。そのためには常に何かに興味を持ち、
詳しく知ることを心掛けると多くの知識を身
に着けることにつながる。子育て中のことは
仕事に関係ないとは思わず、どこかで何かの
拍子に役立つことが出てくると思い学ぶこと
が大切である。大学図書館は、様々な研究分
野の方が利用するので、幅広い知識を持つこ
とはレファレンスサービスの際に役立てるこ
とができる。

子育て中の方は、焦らず、ゆっくり子ども
の成長とともに自分の知らないことを学ぶ機
会と思い、その中で新たな発見をし、自分の
学びを成長させるつもりで、学び続けること
を薦めたい。そして、子育て中に蓄積した知
識とスキルをその後のキャリア形成の糧とし
てもらいたい。

(参考文献)

- 1) 厚生労働省「育児・介護休業法について」
(2021), <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000130583.html>,
(参照 2021-6-20).
- 2) 厚生労働省第174回労働政策審議会雇用
均等分科会資料「育児・介護休業法の改
正経過＜育児に関わる制度＞」(2016),
https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12602000-Seisakutoukatsukan-Sanjikanshitsu_Roudouseisakutantou/0000136911.pdf, (参照 2021-6-20).
- 3) 厚生労働省「III 男女雇用機会均等法成
立30年を迎えて」『平成27年版働く女性
の実情』, <https://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/josei-jitsujo/dl/15d.pdf>, (参
照 2021-6-20).

(やざき・みか／九州女子大学)

一管理職としてやってきたこと

加藤 晃一

子育て中であろうがなかろうが関係ない

今回の特集は「子育てとキャリア形成」で
あるが残念ながら私には子育ての経験がな
く、一部の人から見れば世の中には貢献して
いない部類である。とはいえ年の離れた弟が
いるので、弟に対する親の子育ての記憶はあ
るし自営の家庭でもあったので親の代わり
に色々世話をしたし、子育てと仕事の両立が
大変なことであることは多少なりとも承知し
ている。子育て中の職員(男女問わず)を見
る場合、管理職(上司)としての目線と同僚
としての目線とは自ずと変わる(同僚とし
ては同じ係か否かでも変わるだろう)。管理
職としては昇進にしても異動にしても職位・
業務に適した人物であるかどうか第一であ
り、実力の有無が大前提であるし男女雇用機
会均等法を理由とせずとも、性別にかかわ
らず本人が希望すれば、産休・育休時は別と
して子育て中を理由にステップアップを無視し
てはならない。大した経験はないが、そんな
ことも考えて取り組んできたことを振り返っ
てみたい。

子育て中の職員のキャリア形成－育児休業

女性の場合、出産となれば育児休業を取る
のが普通であろう(男性の育児休業に対応し
たことはない)。となれば産休代替職員を確
保して現場の体制を維持するとともに、当該
職員には安心して子育てに専念してもらう。
保育園等の確保が難しい場合は休業期間の延
長もあり得るが、「現場に迷惑をかける」と
いう意識を持たないようにしてもらいたいも
の、だからということではないが、休業中
にお子さんを連れて挨拶に来てくれれば当然温
かく迎えている(意識せずとも赤ちゃんを見
れば自ずと笑顔になろうというもの)。

また昨今の特徴として出産年齢の高齢化傾

向もあって係長クラスが育児休業を取得するケースも見られる。その場合、課長か副課長がサポートすることになるだろうが（場合によっては一時的に併任辞令を出す場合もあるだろう）、係員の負担・不安が大きくなならないよう心掛けなければならない。とはいえ数年先を見た異動や中長期的な体制などを考えるとコウノトリが運ぶ幸福も時に悩ましいところではある。

子育て中の職員のキャリア形成－昇進

同じ国立大学とはいえ人事制度は大学によって若干違うだろうが、昇進のステップは概ね「係員→主任→係長・専門職員→副課長・課長補佐・専門員→課長→部長」というところだろうか。どのような形式であれ昇進には試験（または審査）があり、管理職としては直近から数年先を考えて候補者を考えるわけだが、育児中の時短勤務の職員であっても必要要件を備えていれば、当人の意思確認のうえで推薦し試験を受けてもらうことになる。これまでの経験では推薦した子育て中の女性職員は皆さん試験にパスしており、嬉しいと同時に安堵もしている。なお係長・専門職員となると大学図書館職員長期研修への参加機会も考える必要があり、大半の参加者が宿泊を伴うので参加のタイミングが難しいのだが、今年度はオンライン形式ということで、幼子のいる本学の係長は心配なく受講の予定である（リアルに一堂に会するメリットは多々あるけれど）。

今は昔…

私が新人の頃は昭和の時代（男女雇用機会均等法制定前）で、時短勤務はあったものの長期間の育児休業を取る先輩もいなかったが、指導していただいた方が産休に入ってしまった、仕事は覚えてないし、業務用システムもちょっとしたことでダウンして復旧処理も夜遅くまでかかった挙句に、産休中の先輩

に電話かけてしまったこともあったし、夏休みなどで留守番していて寂しくなったお子さんからの電話に、一生懸命なだめている先輩の姿に子育ての大変さを垣間見たりもした。係長時代は男性係員が「子供が熱を出して（夫婦で）病院へ連れて行きます」と急に休むことが時々あって、子育ての時代の変化を感じたこともあった。

管理職だって子育て中

国立大学の図書系職員の場合、キャリアを重ねれば40代前半には副課長・課長補佐となり、そろそろ課長昇進の話を薦めるかということになるが、この世代となると受験生の親という場合もある。子供が多感な年代でもあり受験以外の事情も加えて慎重に考える人も多かろう。話は変わるが子育て以外でも親の問題もある。個人的な例で恐縮だが私の場合、父親が亡くなり母親が心配で昇進の話を一年見送っている。祖父母や親の介護の問題もあろう（幸いにして私は未経験だが）。部課長に昇進後でも同様であり話に聞くところでは、家庭の事情で広域異動が難しいゆえに自宅近隣地を希望する管理職クラスもいるそうである。

おわりに

管理職の端くれとしては当たり前のこととして、これからの大学図書館を支えてもらう人材には、男女を問わず子育て中か否かを問わずステップアップをプッシュしてきたつもりである。私個人の経験を述べたに過ぎないけれども管理職が後進の未来を考えていることが伝われば幸いである。

（かとう・こういち／新潟大学学術情報部）

試行錯誤の9年間

花崎佳代子

こんにちは、兵庫地域グループの花崎佳代子と申します。現在10歳の娘が一人います。1年4か月の育休の後、子育てと仕事をなんとか両立してきた9年間に試してきたこと・考えてきたことをご紹介します。少しでも、子育て中の方等のご参考になれば、何よりです。

9年間の変化

育休明けからこれまで、職場で3つのポストを経験しました。

2013年5月から配属された経済経営研究所企業資料総合センターは、原資料を含む経営関係の専門資料を多く所蔵し、やりがいのある職場でした。時短勤務をしながら、休日には娘が昼寝したときに資料保存や分野特有の資料の調べ方等についてウェブサイトや論文から情報収集をしていました。そんな中、大学図書館実施の古本市のプロジェクトメンバーになりました。古本市を発案した手前、プロジェクトのリーダーに立候補したかったものの、その頃1か月半、夫が研修で不在の予定だったため、一人で娘を見ながら責任ある仕事をできる自信がなく、立候補できなかったことが心残りになりました。

2015年4月、機関リポジトリ、デジタルアーカイブ、震災文庫を担当する電子図書館係(当時)へ異動となりました。海外渡航調査のお話を頂き、以前の心残りにも後押しされ挑戦してみることにし、渡航までに1年以上かけてテーマに関する情報収集をしました。そのほかにも、渡航調査の結果に関する記事執筆・事例発表や、JPCOARの作業部会員など、それまで無理と思っていたことにも挑戦する日々が続きました。

その後2017年7月に電子図書館係係長となると、ルーティンに加えて係内業務の企画・

管理や逐次の判断を行う立場となり、明らかにキャパシティ超えと感じる日々が始まります。この年に娘は小学校と学童保育に行き始めたので連絡対応が増えたほか、頻繁な行事、娘の体調不良などで仕事を休む必要のある日も増えました。夫とどちらが仕事を休むかでもめることもあって考え直し、仕事は、子育てを優先した上でできることをしよう決めました。この頃からは、ある程度自分の裁量で進められる業務が増えたことから、日々の情報収集では、業務上で実現したいことに向けた調査を行うことが多くなりました。

このように、その時々で試行錯誤をしながら、なんとか続けてきました。これからも、維持可能なペースになっているか、自分が大切にしたいことを大切にできているか、考え直しながら調整していきたいと思えます。

勉強の時間捻出

振り返ると、私が勉強によく取り組めた時期は、目標(記事執筆、事例報告、業務上のプロジェクト等)が設定できていました。加えて早寝早起き(22時台就寝・4時台起床)できていたときは最も勉強できました。今は早朝の時間確保は難しいですが、休日などに時間があるときに勉強しています。生活ペースが変わって勉強できない時期もありますが、長期的にみるようにして、あまり気にしないようにしています。

情報収集では、興味があるトピックの論文やウェブサイトを探して読むほか、GoogleアラートやFeedly、Twitterなども利用しています。また何かを調べたり読んだりした結果はEvernoteにまとめてあとから参照できるようにしています。

子育てと仕事の相乗効果

子育てと仕事の両立は大変な面もありますが、以下のような相乗効果もありました。

- ・子育てでは、仕事同様に、コミュニケーション

ンや段取りが必要な場面が多いです。今もどちらも苦手ではありますが、子育てのおかげで多少は鍛えられたのかもしれない。

- 子育てを通じて読み聞かせや読書教育に興味を持ち情報収集してきましたが、それらの知識は幅広くとらえれば仕事にもつながる点があるように思います。
- 子育てに関しては世の中に本当にたくさんの情報があります。最初は数ある情報に踊らされがちな面もありましたが、次第に色々な情報源から取捨選択して参考にできるようになったのは、大学図書館員という仕事上、情報リテラシーの知識が身近だったからかなと思います。

最後に

はじめは娘のお迎えも、夫は週1・私は週4でしたが、じわじわと変更し、今では半分です。説得には時間とエネルギーが要りましたが、しつこさが功を奏したのかもしれない。職場では、突然お休みさせていただくこともありましたが、周りの方にサポートして頂き、続けてくることが出来たのはとても恵まれていると思います。

状況は千差万別だと思うので、こうすればうまくいくというアドバイスはできませんが、子育てと仕事を両立されるみなさんの生活が、ご自身の納得できるものになるよう、応援しています！

(はなざぎ・かよこ／神戸大学附属図書館)

仕事と子育てと自分の時間

柿原 友紀

私は、熊本大学附属図書館で働き始めた数年後から大図研に入り、出産前までの数年間は支部の企画担当をしていました。しかし、

出産後の数年間は、全国大会や例会に参加することすらほとんどできませんでした。現在は一時的に図書館を離れ、社会連携課で地域連携や産学連携の仕事に携わりながら、2人の子育てをしつつ、細々とですが全国委員として大図研の活動に参加しています。仕事と子育てをしながら、どのように自分の時間を作って勉強を行ってきたか、私の10年余りの経験を書きたいと思います。

第1子の子育て期

長男誕生後の育休中は、子どもが寝ている間は自分の時間が持てましたが、家を建てるための勉強と準備に使いました。育休復帰直後は、慣らし保育で休みがちになる上、保育園に慣れた頃には次々と感染症にかかり、月の半分も出勤できませんでした。最初は夫婦2人でも子育てできると思っていたのですが、私自身も風邪をこじらせて肺炎で入院してからは、保育園のお迎えなどで義母の助けを借りるようになりました。平日に夫が休みの日しか残業できないため、なるべく仕事の無駄を省き、限られた時間の中で集中して仕事をするようになりました。

子育てと仕事の両立に慣れ、少し余裕ができた頃には、e-ラーニングによる学内の英語研修を受講し、子どもが寝た後や、休日のお昼寝の時間に勉強していました。他にもgaccoでアクティブラーニングの講座等を受講しました。当時は医学系分館にいたため、学生の国家試験の時事問題対策になればと、自分の勉強も兼ねて毎日昼休みに全国紙と地方紙各1紙に目を通し、チェックした医療関係の記事をデータベースから出力して掲示することを1年程やっていました。大図研の地域グループの活動には、1参加者としてできる範囲で参加していました。

2児の子育て期

第2子となる次男の育休中は、家事や上の

子の世話もあるため慌ただしく過ぎ、勉強するような余力がありませんでした。2度目の育休復帰後から、子どもを保育園に送るのは夫にまかせ、勤務時間を30分前倒しにすることで帰宅時間を早め、夕方に保育園にお迎えに行き、夕食を作って食べさせ、お風呂に入れて寝かしつけるまでの時間を確保しました。ぐずる1歳の次男を背負って夕食を作っていた時期はつらかったですが、2歳を過ぎて子どもだけで遊んだり、テレビを見てくれるようになると楽になりました。長男が小学校に入ると、お迎え先が学童と保育園の2か所になり、より夕方の時間が慌ただしくなりました。小学校の最初の1年間は、毎月のように学校に行ったり、持ち物や宿題の確認に手を取られたり、長期の休みになれば学童にお弁当が必要になったりと、保育園に比べ親の負担が大きいと感じました。

e-ラーニングでの英語研修は2～3年に1回は受講を続け、昼休みや休日以外にも、夫が休みの平日の夜には、学生に混じって図書館で勉強した結果、TOEICでよい結果を残すことができました。また、金曜日の昼休みに館内で開催されていた、古文書勉強会にも10年ほどのブランクを経て復帰し、つたないながらも一紙文書を読み解き、目録と釈文を作成しました。歴史に興味を持ち始めていた長男に読んで古文書の内容を話したり、所蔵資料が展示された美術館や博物館に子ども連れで行っていた結果、長男は隙を見ては歴史本を読み漁る、歴史好きに育ちました。

部署異動とコロナ禍での子育て

部署を異動してからは前倒し勤務をやめ、出勤前に新聞を読む時間にしています。新聞は大学に関する記事や、産学連携を進めている企業の記事など、仕事をする上で必要な情報を得るために必須です。担当する仕事量が多くなったため、全てを自分で抱え込むのではなく、内容によっては他の人に仕事を割り

当てて、その進捗をチェックするような仕事のやり方もできるようになってきました。

コロナ禍で小学校が休校になった時期は、次男も保育園を休ませていたため、在宅勤務をしようにも、半日が限界でした。長期の休校で出た大量の宿題を、子どもだけではこなせなかったため、漢字のお手本を書いたり、ローマ字や縄跳びの練習に付き合ったりと、仕事と子育てと家事に加え、先生の役割も担うことになり大変でした。ただ、感染拡大期にたまに在宅勤務をすると、長男が帰宅する時間に家にいれる点はよかったです。

大図研の全国大会や例会等に参加する場合は、前もって夫と日程調整して出かけていましたが、コロナ禍でオンラインになってからはその必要がなくなり、参加しやすくなりました。初めのうちは子ども達が物珍しがって、カメラに映りたがっていましたが、最近では他の部屋や外で遊んでいてくれるようになり、より気軽に参加できるようになりました。

仕事と子育てと自分の時間

仕事をしていることで、子どもたちに向き合う時間を十分にとれていないと思うこともありますが、私個人は子育てだけでは社会とのつながりや達成感を感じられず、結局いい母親にはなれない気がしています。子育ての気分転換が仕事に、仕事の息抜きが子育てになっている側面もありますが、子育ての期間は長いので、こまめに自分の時間を確保して勉強したり、リフレッシュすることも必要だと思います。私は夫の理解と協力のおかげで、自分の時間を確保できています。また、義母や両親、保育園や小学校の先生、同僚や上司、多くの人に支えられてきたおかげで、仕事と子育てを何とか両立することができています。この場を借りて、感謝したいと思います。

(かきはら・ゆき／熊本大学)

□大学図書館研究会出版部 (出版物購入・問い合わせ窓口)

〒195-8585 東京都町田市金井ヶ丘5-1-1 和光大学図書・情報館気付

Fax: (044) 989-2250 E-mail: shuppan@daitoken.com

<出版物購入代金等振込先> ゆうちょ銀行 振替口座: 00140-6-482205 大学図書館研究会出版部

三菱UFJ銀行 越谷駅前支店 普通口座: 1403054 大学図書館研究会出版部

□大学図書館研究会事務局

〒305-8550 茨城県つくば市春日1-2 筑波大学図書館情報メディア系 吞海研究室気付

E-mail: dtk_office@daitoken.com

<会費振込先> ゆうちょ銀行 振替口座: 00190-2-79769 大学図書館問題研究会

第52回全国大会のお知らせ

第52回全国大会実行委員会

第52回全国大会 (オンライン開催) は、現在参加申込受付中です。申し込みに関する詳細は、全国大会ウェブサイト、又は会報2021年6月号をご参照ください。参加申込締切は2021年9月10日 (金) 17時です。当日受付も含めて、申込締切日以降の参加申込はできません。

多数のご参加をお待ちしております。

全国大会研究発表・自主企画を募集しています

■研究発表■

全国大会では、会員による成果の発表の場としまして、研究発表の時間を設けております。日頃の業務や研究活動で取り組まれている成果、事例報告等をご発表いただく機会です。お申込みをお待ちしております。

- ・開催日時: 2021年9月18日 (土) 16:00-16:45
- ・開催場所: Zoomを使用したオンライン形式で行います。
- ・発表時間: 20分程度 (質疑応答5分程度を含む)
- ・申込資格: 大学図書館研究会の会員であること
(グループ発表の場合は、発表者の少なくとも1名が会員であること)

■自主企画■

自主企画とは、会員が自主的に企画するイベントのことです。今大会では、恒例の企画をオンラインでどのように開催するか、工夫することが必要になりますが、オンラインならではの企画も歓迎いたします。開催内容、開催方法についてのご相談もお待ちしております。

- ・開催可能時間: 2021年9月19日 (日) 分科会終了後 17:30-19:30
2021年9月20日 (月・祝) シンポジウム終了後 13:00-14:30
- ・開催場所: Zoomを使用したオンライン形式で行います。

※同時間帯での開催希望が多数の場合は、事前に調整する場合があります。また、運営者ご自身でZoomのアカウント等を取頂いただく可能性もございます。オンライン開催に伴う機材はご自分でご用意ください。

- 申込方法・締切、その他詳細については、全国大会ウェブサイトをご参照ください。ご不明な点は全国大会実行委員までお問い合わせください。

全国大会ウェブサイト: https://www.daitoken.com/research/annual_conference/2021

全国大会実行委員: taikai@daitoken.com